

2010年1月26日の日経産業新聞朝刊に、弊社のサービス記事が掲載されました

中国で要員 1000 人に倍増

米アチーブ、価格 1/3 で

日本で受託の BPO 対応

January 27, 2010 – Achievo



米システム開発会社のアチーブは日本でデータ入力代行などの BPO（業務委託）事業を拡大する。日本で受託した BPO に専門で対応する中国拠点を従来の 1カ所から四カ所に増やし、近隣の大学など 25 校と入力要員養成で協力する契約を結んだ。要員を 2010 年末までに合計で 1000 人規模に倍増させる。日本の同業者より割安なデータ入力への引き

合いが強いことに応える。

拡大するのは「チャイナソーシング」と名付けた BPO サービス。企業の顧客情報や売掛金、給与などのデータを暗号化して中国に送り、入力・加工して日本の顧客に送り返す。10 年に前年比で倍増の 2 億円の売り上げを目指す。

アチーブは 09 年前半に、上海市近郊の江蘇省太倉市に専門のデータ入力拠点を開いて日本市場に参入。より人件費の安い江蘇省揚州市と湖南省長沙市に 09 年末、専門拠点を置いた。雲南省昆明市にも 2 月に拠点を開く。並行して、中国 4 拠点の近隣などの単科大学や専門学校 25 校と協力することを決めた。学校側はデータ入力などアチーブの業務を、カリキュラムの一部として取り入れる。空き時間や卒業後に学生を動きやすくする。アチーブは 3 校を「基地校」と位置付け、新設のデータ入力 3 拠点はそのキャンパス内に開いた。

現在は太倉市の拠点を中心に日本専門の BPO 要員を 500 人抱えるが、拠点新設などで年末までに 1000 人規模に増やす方針。「日本の同業者の 3 分の 1 の価格でサービスを提供できる」（アチーブビジネスの李農ジャパン事業グループ副総裁）強みを生かし、受注を拡大する。

米アチーブが中国で開設した BPO の専門拠点の所在地 (予定を含む)



アチーブは米国在住華僑が 02 年にカリフォルニア州で設立した。ソフトウェアの受託を主力とするジャパンビジネス事業グループの 09 年 10 月期の売上高は約 70 億円。